

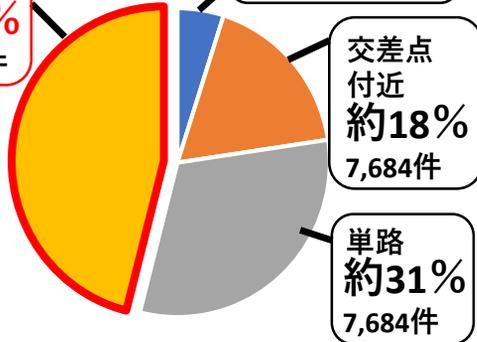
交差点で交通事故が多発しています！

令和6年中 道路形状別
人身事故件数（愛知県内）

約5割が交差点で
発生しています。



交差点
約46%
11,278件



交差点における 交通事故動画



愛知県警察公式
チャンネル掲載
(YouTube)



自動車や自転車が交差点において 安全に通行するために



◆ **停止線・停止指導線**には意味があります◆
設置場所は交差点など、安全確認が特に必要な場所です

ケース 1

一時停止標識有り
停止線有り



停止線の直前で一時停止をし、安全確認をしてください。
※「止まれ」の路面表示が無い場合も同じです。

停止線が無い場合は、交差点の直前で一時停止をし、安全確認をしてください。

ケース 2

一時停止標識無し
停止指導線有り



道路管理者により、安全確認を推奨すべき場所に設置されています。

停止位置の目安となっていますので慎重な運転に努めてください。

ケース 3

一時停止標識無し
停止指導線無し



見通しの悪い交差点は、徐行（直ちに停止できる速度で走行）をし、防衛運転に努めてください。



停止線「ぴたっ」と止まって安全確認

～安全は正しい停止から

停止線の直前で止まって安全確認を！～

